

ことばと社会
権力の構造と言語学からの問いかけ



2026年 6月26日 (金)

5限 16:20~17:50

Dr. Yoko YONEZAWA

対象 ALL WELCOME!

形式 対面式

申込 事前申込不要。直接会場にお越しください。

会場 関西大学 千里山キャンパス 岩崎記念館4階F401

概要 言語には、人の世界観や思考の方向性を構築する力がある。私たちが日常的に使うことばは、単に情報を伝えるだけでなく、何が「普通」で何が「逸脱」であるかを無意識に定義したり、社会における権力構造を見えない形で再生産したりもする。本講義では、この「ことばの政治性」を言語学の視点から考察する。ケーススタディとして、女性政治家のスピーチスタイルや、彼女たちをめぐるメディア報道を例に取り上げ、ことばが認識を構築するという視座からの分析を紹介する。



米澤 陽子 氏

Dr Yoko Yonezawa

オーストラリア国立大学にて応用言語学修士号および言語学博士号を取得。同大学およびニュージーランド・ビクトリア大学ウェリントン校での教育・研究を経て、現在はシドニー大学言語文化学部日本研究科レクチャラー。日本語言語学において、語用論的・社会的認識が文法とどう関わるかを中心に研究を行っている。著書に *The Mysterious Address Term anata 'you' in Japanese* (2021, John Benjamins) があるほか、日本語と英語で論文を出版。